

A Visit from Saint Nicholas
サンタクロースの訪問

P.165

クリスマスの前の晩だった。

家はとても静かだった。

家の中で動いている生き物はいなかった。

ねずみの一匹さえ動き回ってはいなかった。

煙突の隣には靴下がきちんとかけられていた。

【ヒント】

The stockings had been hung carefully by the chimney.

<had+過去分詞>で

「(過去のある時点を基準にしてそれより前に) ~だった」という構文。

過去完了の文章。

※「クリスマスの前の晩」という過去のある時点を基準にして、
「靴下をかけた」事実はそのよりも前の出来事。

子供達は、サンタクロースがやって来て、それらをいっぱいにしてくれることを願っていた。

子供達は、ベッドの中にいた。

彼らのベッドは私達の隣の部屋にあった。

ママと私はベッドの中にいた。

ママはカチーフをかぶっていた。

私はナイトキャップをかぶっていた。

子供達が動いているのが私には聞こえてた。

私達は動かなかった。

私達が寝ていると子供達に思わせたかったのだ。

「お父さん」子供達は言った。

返事はなかった。

彼はちゃんと向こうにいる、と彼らは思った。

「お父さん」彼らは言った、そしてベッドの上でドスンと音を立てた。

「何だ？」私は尋ねた。

「砂糖菓子の幻を見たんだ」子供達は言った。

「寝なさい」ママは言った。

「眠れないよ」子供達は言った。

彼らは話すのをやめたが、彼らが動いているのが私には聞こえた。

【ヒント】

They stopped talking, but I could hear them moving.

<stop+動詞のing形>で、「～する事をやめる」という構文。

※<stop+to不定詞>だと、「～するために止まる」という

全く違う構文になってしまうので注意！！

彼らは音を立てた。

「眠れる？」子供達が尋ねた。

「いや、」私は言った。

P.166

「寝なきゃダメだよ」

「分かっているよ。寝なきゃいけないな。」

【ヒント】

I ought to sleep.

〔ought to～〕で、「～すべきである」という意味。

助動詞 should と同じ意味を持つ。

否定文は ought not to～ という形で用いる。

「砂糖菓子を食べてもいい？」

「砂糖菓子を食べてはダメよ。」ママは言った。

「ただ聞いてみただけだよ。」

長い沈黙が流れた。

私には、再び子供達が動いているのが聞こえた。